



3/30 Hirado City Photo News
春の訪れを告げる桜の祭典



3月21日～ 4月13日に平戸城・亀岡公園で平戸城さくらまつり(写真上)が開催され、満開の約700本のソメイヨシノを見ようとたくさんの方が訪れました。期間中は桜がライトアップされ、幻想的な雰囲気になりました。

また、3月30日には田平公園で第15回県立田平公園さくらまつり(写真左上)も開催され、平戸口社会館の太鼓や、スタジオシャインのダンス(写真左)、バンド演奏などのステージイベントや、飲食物の販売・花苗のプレゼントに多くの方が集まりました。

4/5 Hirado City Photo News
放牧牛のために地域で環境保全



生月町の山頭草原で、恒例の「アザミ掘り」が行われました。山頭草原は牛の放牧地としても利用されており、放牧牛が誤ってアザミを食べると、とげで口の中が傷つくために、山頭和牛生産組合が毎年行っているもので、NPO法人山田・館浦地区まちづくり運営協議会が支援しています。

この日は山頭和牛生産組合の皆さんのほか、地域の皆さんや家族連れなど、参加者全員でアザミを駆除し、開放感のある山頭草原で春の訪れを楽しんでいました。

4/2 Hirado City Photo News
消防署田平出張所新庁舎完成



平戸市消防署田平出張所の新庁舎落成式が行われ、関係者ら約60人が出席しました。

昭和49年3月に開設された旧庁舎は建物の老朽化が進んだことから、近接地に新庁舎を建設。完成した新庁舎は、3月31日から利用を開始しており、会議室や仮眠室のほか、市内の出張所では、初めて女性専用室を備えた施設となりました。

全国的にも女性消防職員の活躍が推進されており、平戸市消防本部では、現在3人の女性消防隊員が勤務しています。

3/20~21 Hirado City Photo News
心もからだも休まる休暇を



全国でIT業務を展開する㈱コミクリの九州支社の皆さんが、「避粉地ワーケーション」の候補地として大島村を視察しました。

花粉の飛散が少ない「避粉地」とされる大島を、休暇を兼ねたリモートワーク「ワーケーション」の拠点とし、社員のリフレッシュや仕事の効率アップにつなげることが期待されます。

宿泊施設「漁火館」や神浦地区などを視察し、大島中学校の生徒たちと大島村の活性化策を考えるグループワークなどを行い交流しました。

3/20 Hirado City Photo News
幻想的に演出された平戸神楽



平戸文化センターが「BUNKA FES HIRADO」を開催し、たびら青嵐太鼓、平戸手話サークル、平戸藤舞会、香雲堂吟詠会平戸本部桜瑛会、大塚ヘルシーサークルの皆さんの出演や、今年行われる「国民文化祭・全国障害者芸術文化祭」の周知啓発が行われました。

また、長崎県指定無形民俗文化財「田助ハイヤ節」や国指定重要無形民俗文化財「平戸神楽」では荘厳なライティングで文化センターならではの演出で披露されました。

3/30 Hirado City Photo News
桜並木をウォーキング



田平町の久吹ダムで第3回久吹ダムさくら健康ウォークが開催され、家族連れなど110人が参加しました。

久吹ダムを周回する桜並木を楽しむ約2.2キロメートルのコースと、桜や菜の花畑を楽しみながら福崎地区を周る約5.5キロメートルの2コースに分かれて、満開の桜を眺めたり、写真を撮りながらウォーキングしました。

ゴールした後は、地元の特産品などが当たるガラポン抽選会も行われました。

3/23 Hirado City Photo News
ボランティア
懸命に生きることこそ奉仕



平戸文化センターで、平戸ロータリークラブ講演会「『懸命に生きる人々』～いま私たちが学ぶべきこと～」が開催されました。平戸中学校吹奏楽部のコンサートで幕を開け、(一社)アジア支援機構代表理事の池間哲郎さんが、東南アジア諸国を支援してきた経験からのメッセージを来場者へ伝えました。

幼い子どもが明日命を落とすかもしれない中で働き、家族を援助する姿などを知った参加者からは、「お母さんの手伝いを頑張る」「子どもが自立できるよう干渉をやめよう」などの声が聞かれました。